

## まちづくり校区集会のとりまとめ結果

平成 21 年 10 月



## 1. 開催概要

各校区において、下記の日程で集会が開催された。

校区	実施日	提言内容
多喜浜	平成21年7月6日(月)	多喜浜塩田遺産を活用したまちづくりについて 安心できる元気な地域コミュニティづくり
金栄	平成21年7月8日(水)	これからの10年のまちづくりに向けての提言
大生院	平成21年7月9日(木)	これからの10年のまちづくりに向けての提言
船木	平成21年7月10日(金)	これからの10年のまちづくりに向けての提言
大島	平成21年7月18日(土)	これからの10年のまちづくりに向けて ～大島活性化対策(大島小学校の廃校がポイント)～
惣開	平成21年7月21日(火)	これからの10年のまちづくりに向けての提言 ～産業遺産と公民館を拠点としたまちづくり～
高津	平成21年7月24日(金)	今後の地域活動の変化と取り組みについて
中萩	平成21年7月24日(金)	10年のまちづくりに向けて(3つの提言)
別子山	平成21年7月26日(日)	これからの10年のまちづくり
若宮	平成21年7月28日(火)	これからの10年のまちづくりに向けての提言
浮島	平成21年7月29日(水)	これからの10年のまちづくりに向けての提言
角野	平成21年7月30日(木)	これからの10年のまちづくりに向けての提言
宮西	平成21年8月3日(月)	これからの10年のまちづくり
垣生	平成21年8月4日(火)	これからの10年のまちづくりに向けての提言
泉川	平成21年8月6日(木)	これからの10年のまちづくりに向けての提言
新居浜	平成21年8月7日(金)	10年のまちづくりに向けて(4つの提言)
神郷	平成21年8月10日(月)	これからの10年のまちづくりに向けての提言
金子	平成21年8月11日(火)	これからの10年のまちづくりに向けて

## 2. 意見の分類整理

### (1) 都市基盤

中分類	提言	校区
道路	安全安心の新居浜市ということで、安心して暮らしていけるよう地域、校区に応じた交番、派出所の設置、安全で歩ける通学路、道路を整備して暮らしやすい新居浜市にしていきたい。	中萩
市街地整備	<p>駅南地区についても整備をしてほしい。</p> <p>駅舎についても、区画整理事業にあわせて新居浜市の玄関にふさわしいりっぱな駅舎をつくってほしい。</p> <p>町並みの景観を整備してほしい。例えば電柱の地中化や看板の撤去、耕作放棄地、河川の汚濁防止などに取り組んでほしい。</p>	金栄
	<p>第四次長期総合計画の中には、J R 予讃線の高架化とある。将来の新居浜市のまちづくりには絶対必要であるし、これによって南北の交通が改善され、たいへん望ましいことであるが、実際には、完成までにどれほどの時間がかかるかわからない。このようなことを掲げるのは、ナンセンスだ。これからの10年ということであれば、現実的な課題とすべきである。</p> <p>J R 貨物駅は、約30年前の国鉄の民営化に伴い、旅客部門と切り離し、全国で一つの別会社として運営されている。全国的に統廃合が進められ、四国の貨物駅は、松山、新居浜など数駅しかない。貨物駅の機能は、貨物の集配機能、貨車の組替機能を必要とするため、広い平地と旅客本線から分岐した数条の線路、信号設備が必要で、高架はできない。従って、事前に貨物駅が移転できる場所を選定確保する計画を進める必要がある。</p> <p>貨物駅の移転について、J R 貨物会社の合意が得られたとしても移転に伴う費用は、地域ですべて負担することになっており、J R 貨物という小さな会社は一切負担しない。</p> <p>従って、行政としては、今進行中の松山の計画を調査したり、県の意向も確かめたり、当市のケースを各面から専門的に検討する組織を作ることが先決と思う。(荷主、地主の合意等)</p>	新居浜
下水道	公共下水道整備の推進と水洗化の促進を図って欲しい。水洗便所改造資金融資・下水道設置資金融資あっせん及び利子補給は継続してもらいたい。	船木
公園・緑地	<p>終日利用できる多目的広場の施設を科学博物館周辺に設置してほしい。現在、大生院校区では、「自由に集団で楽しむ、学ぶ」ということができない状況である。少子高齢化、働く選択のできない校区であるので、地域内で、年齢差、男女を問わず、交流・交換の場が必要である。施設があれば、他校区とのあらゆる階層の交流が企画でき、集団活動を通し、規律や協調性等を学ぶことができる。また、お互いを思いやる心、痛みのわかる人間になれると思う。このことにより、幅広い知識や相手を思いやる豊かな心を身につけることができ、多難の社会へ飛び込めると思う。何事も体験から学びとりたいと思い、各スポーツ等を通し、豊かな心、人を大切に作る心、地域、郷土を誇れる人になりたい。役割、責任、行動をしっかりと身につけ、家庭、学校、地域、各企業の相互協力により、地域を盛り上げ、新居浜市の発展につなげたい。</p>	大生院
	<p>災害時には自宅から避難する場所が必要であるが、近所に公園があればテント等の設置場所になる。このことから地域ごとに緑地公園の配置をして欲しい。</p>	浮島

(2) 産業振興

中分類	提言	校区
農林水産業	若い農業経営者が希望の持てる環境づくりをして欲しい。農業について消費者が理解しやすく親子でも楽しめるような農業公園を船木に作って欲しい。農業の高齢化に対処するため、共同機械方式の整備・充実が大切である。農業公園で収穫した作物を販売できるフリーマーケットを開催できるように支援をお願いしたい。	船木
	島の高齢化が進む中、農業後継者不足のため今後ますます休耕地が増える可能性がある。農業漁業体験・農業就労支援を実施し、地域力を高める必要がある。 第一次産業従事者の定住を促進（I・Uターン者等）し人口増を図る。	大島
工業	若者が生活しやすい町、若者が地元で定住できるような企業誘致が必要であり積極的に動いてもらいたい。起業する際の準備オフィスを交通便の良い駅前に提供し起業しやすい条件整備を図って欲しい。	船木
	新居浜市はものづくりのためにこれまで蓄積してきた基礎技術・設備があり、製造業に従事する人も他業種に比べ多い。そこで、「工都新居浜の復活を目指す」というスローガンのもと、まちづくりをすすめてはどうか。その為には、世界戦略が立てられる人をリーダーとして迎える、全国の大学・研究機関と連携をとり、世界に通用することをシーズ（たね）の段階から探す、成功事例に学ぶ（例えば西条市のクラレ西条等）などしてはどうか。	若宮
商業	別子山にショッピングモールを作り、別子山に大勢の方が来てもらえるようにしてほしい。そのためには道路の拡大が必要である。また、「霧の森大福」のようなここでしか買えないような特産品づくりや温泉施設など魅力あるものを作ってほしい。	別子山
	昭和通りのにぎわいを取り戻したい。 人が集まる方法・低料金で市内の施設を巡ることができるバスを新設する。 環境にやさしい公共交通機関をつくる。 自転車道を整備し、安全に行き来できる体制をつくる。 魅力ある店づくりを目指す・ここでしか買えない限定商品の開発をしてはどうか。	宮西
観光	次世代に兜山の雄姿を伝承するため、林道及び環境整備をお願いしたい。兜山から西赤石への登山ルートを整備すると旧別子銅山跡を中心とした観光登山ルートが形成できる。子供達の教育登山にも利用できる。創造性あふれるふるさと文化づくりのため、お願いしたい。	船木
	新居浜市の有形文化財を中心とした観光開発について、有形文化財として登録された別子銅山関係の文化財とともに旧別子銅山鉄道を復活し、新居浜市全体の観光開発に取り組んでいただきたい。	中萩
運輸交通	別子山地区は高齢化率49%であるため、高齢者にやさしい街づくりを一つとして、交通網の拡充を希望する。通院や買い物のためにも地域バスを利用しているが、現在の2便では他の用事を済ませることができないため、増便やデマンドタクシーとの併用を考えてほしい	別子山
雇用	小学校廃校後、跡地を利用して、宿泊施設を設けることで雇用を創出する。	大島

中分類	提言	校区
雇用	<p><b>少子高齢化対策（地元定着化、U・I・Jターンの受け皿づくり）</b></p> <p>①別子山村の自然環境を生かしたU・I・Jターンの受け皿づくり</p> <p>団塊の世代や都会からのU・I・Jターン組がロハスな田舎暮らし求めて地方に動き始めている。住環境の供給や農林業の支援体制、環境整備をすすめることにより労働力の確保につながる。また高齢化や限界集落化にも歯止めがかかる。また子育て世代もロハス生活に魅力を感じて移動することで少子化対策にもつながる。市内各所にもまだまだ田畑が混在しており、自給生活と古民家セットでの需要がある。こういう人々は地域コミュニティとの共生も積極的で友好的である。</p>	角野
その他	<p>大島の活性化のため、年間を通して、利用（来島）してもらえらる顧客の掘り起こしが必要。</p>	大島

(3) 保健福祉

中分類	提言	校区
保健・医療	<p>医療と福祉の連携を強めてほしい。市、医師、福祉施設、住民が連携して医療と福祉の連携を図ってほしい。</p>	金栄
高齢者福祉	<p>家庭での介護で問題となっている夜間のディサービスなど夜間対応型施設や施策の充実をしてほしい。</p> <p>高齢化が進展するなかで、運転免許の更新に認知症の検査が必要となっている。高齢者の足の確保という観点から、乗り合いタクシーの整備をしてほしい。</p>	金栄
	<p>高齢者施策として、配食サービスや入浴サービスなど介護保険外での対応（ゆらぎ館の有効活用を含めて）をしてほしい。</p> <p>少子・高齢化が進展しているが、浮島地区は市内でも有数の高齢化が進んでいる地区で独居老人も多く、介護が必要となった時のことを不安視している人が多い。</p> <p>現状は、高齢者の介護施設（老人ホーム等）が不足しているが、安心して老後を過ごせるように市が主導して、老人ホームを増設して欲しい。</p> <p>民間・公的施設を問わないが、生活に余裕がある人は民間の施設へ、入居費用が出せない人は公的な施設で生活できるように、必要とする人の誰もが入所できるように整備を進めてほしい。</p>	別子山
その他	<p>若宮校区は、工場群があったり、市営墓地、火葬場、ゴミ処理場、県産産廃焼却場等があり、生活環境も良くない。校区の高齢化も非常に進んでいるため、今後産廃焼却場でPCBの焼却処理を行うのであれば、十分な情報公開を行い環境問題に留意いただくことはもとより、PCB処理受け入れの代償として、校区の住民が容易に利用できる健康・福祉施設を建設していただきたい。</p>	若宮

(4) 市民環境

中分類	提言	校区
環境・衛生	リサイクルを一層進展させてほしい。市民にリサイクル活動は浸透していないため、さらに意識啓発をしてほしい。	金栄
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市としても環境への積極的な取り組みを進めることが必要であり、太陽光発電システムを公共施設に導入して欲しい。</li> <li>環境負荷低減のために使用済み天ぷらオイルの収集ルート確立と、燃料オイルに再生する事業への援助をして欲しい。また、バイオ燃料等も含め公用車への利用を積極的に進めてほしい。</li> </ul>	浮島
	地産地消の振興等による安全な食料の安定供給の確保やA I-2づくりによる河川等の浄化、生ゴミ用ボカシ等による自然の浄化、環境美化により、低エネルギー、ゆとり社会へ転換し、低炭素で持続可能な緑あふれる、自然の恵み豊かなまちづくりを目指す。	垣生
ごみ・し尿処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人が互いに協力し、交流を深めながら、環境やまちづくりにより行事などを活発に行い、温かい泉川にしたい。(泉川中学校生徒)</li> <li>ここに生まれてよかったと思える地域にしたい。そのためには「ごみがない」というのが第一である。(泉川中学校生徒)</li> <li>誇れるまちとは、自分の生まれ育ったまちを愛すること、すなわち魅力あるまちづくりだと思う。そのためには、一人ひとりが協力して、ごみを落とさない、ごみを拾う、あいさつをすること。</li> </ul>	泉川
	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつ声が行き交っているまちにしたい。奉仕作業等のみんなでのしむものや伝統的な行事へ参加することによって、何かが変わってくる。(泉川中学校生徒)</li> <li>環境美化など、地域の方々が交流できるイベントをつくり、みんな仲の良い泉川にしたい。(泉川中学校生徒)</li> <li>「一般家庭の生ゴミモデル地区事業」の実施を提案したい。</li> <li>地区内に「生ゴミ推進委員会」等を発足させ、生ゴミの保管方法や収集方法、また生ゴミ減量の必要性を詳しく説明し、各家庭の理解を求める。生ゴミから堆肥等を作り、公共機関や家庭等に配布する。</li> </ul>	泉川
	地球温暖化はわが国だけでなく、世界中の問題となっている。このような時代に、私たちが何か協力できることはないだろうかと考え、思いついたのが、古布の集団回収だった。現在新居浜市で、家庭ごみとして出されている古布は、すべて燃えるごみとして、焼却され、処分されているが、最近の古布業界の話によれば、およそ90%を有効利用されている。焼却処分されるのは、残り10%だが、これも燃料として活用されているそうだ。集団回収で、集めた資源ごみは、市の処分場を通らず、直接業者へ売り渡すことになるため、焼却されることなく、それぞれに活用されるごみとなる。さらにこれに加えて、ある市には奨励金という制度もあるそうだ。一度には無理だと思うが、時間をかけ、地域から校区、そして新居浜市全体へ活動の輪を広げていき、新居浜市のごみの中から、衣類は見られないようにしていきたい。	新居浜
防犯	最近、不審者が増加している。安心して生活・外出できる環境整備が必要。近所との信頼関係を築き、地域との交流を深めることが地域の安全を守り非行防止につながる。	金栄

中分類	提言	校区
防災	<p>① 自主防災組織の実質的な活動を活性化させる意味からも、自治会館を非難所と位置づけ、隣近所の災害弱者の方が安心して避難できる非難所ネットワークを組み上げる。</p> <p>② 現在、自治会館の修繕等も補助金を受けて行っているが、ただ単なる施設の修繕だけではなく、そのような折には、付加価値として災害対応型施設への対応も盛り込み、自治会館のレベルアップを図ってもらいたい。</p> <p>自治会をはじめコミュニティの力が益々大きくなるような街づくりを新しい計画に盛りこんでほしい。</p>	多喜浜
その他	<p>森林や田畑が放置され荒廃している。このようなところは市が借り上げ市民に安く貸す制度をつくって欲しい。</p>	浮島

(5) 教育文化

中分類	提言	校区
学校教育	<p>大学・専門学校をつくってほしい。若者が定着できるとともに市外から人が集まる。地元企業とタイアップした専門分野の授業を行えば、学生には就職活動が有利になるとともに、地元企業にとっては入社後の教育が短期間で済むという、双方にメリットがある。専門分野の研修制度を設け、地元企業から研修生を出してもらい、最新技術の研究を行えば、世界に通用する技術を保有できるようになる。</p> <p>体育館やプールなど老朽化しているため、改築してほしい。</p> <p>高等専門学校の大学化、中小企業大学の誘致、企業の研究施設の誘致に取り組んでほしい。</p>	金栄
	<p>子供たちをはじめ、すべての人が将来にわたって、いきいきと暮らすことができるようにするためには、何よりも食が重要だと思う。ここ数年、食生活環境が変化し、その影響が顕在化し、栄養の偏り、不規則な食事、肥満や生活習慣病の増加、食の安全など、さまざまな問題が生じている。</p> <p>さまざまな食育推進の取り組みを進められることが期待されており、例えば、作った人の顔が見える野菜を使った給食、地域の方たちと一緒に作った季節の野菜を使った給食、地産地消と今言われているが、まだまだその取り組みは少ないと思う。子供たちと一緒に野菜を作れば、いつの季節にこの野菜ができるのか、野菜を作ることがこんなにもたいへんなのか、食材を大切にしなければならぬという気持ちが生まれると思う。子供たちの、農業に対する理解も深まると思う。一品目からでも、この新居浜校区で育てられた野菜を子供たちに届ける取り組みを考えてもらいたい。また、少子化対策、子育ての一環として、給食費の無料化にもご検討いただきたい。</p>	新居浜
	<p>■中学校選択制とPTA活動、保護者、学校、地域の連携について</p> <p>平成16年から制度が始まり、現在、南中学校の生徒数の5分の1(約60名)が校区外通学となっているが、こうしたことを背景に地域別のPTA評議員選出や校区PTAの各活動がスムーズに行えなくなり、地域との連携懸念が生じており、以下2点を提言する。</p> <p>① 校区外通学の人数制限をしてほしい。</p> <p>② 学校主体となって、学校、地域、保護者が一体となるような活動を展開していただきたい。</p> <p>提言実現の効果としては、地域の活性化、教育現場の活性化が図られる。</p>	金子

中分類	提言	校区
学校教育	<p><b>教育改革</b> (将来子どもが帰って来たくなくなるようなしくみづくり)</p> <p>■ ゆとり教育の失敗により文部科学省の方針に迷いがある。市独自の見識により「これからの時代を生き抜く力をつける教育」におもいきって舵取りをしてほしい</p> <p>① <b>全市的な小中学生の携帯電話の禁止</b> (石川県の子供の携帯電話禁止条例の採用)</p> <p>子どもたちへの携帯電話の影響力と依存性はもはや親のコントロール能力を超えており、行政主導で措置しないと解決できないところまで来ている。犠牲者が毎日増えている現状。</p> <p>② <b>小学校低学年からの基礎学力の徹底</b></p> <p>全市的に陰山方式などの採用により読み書き計算を徹底反復することで基礎学力を底上げする。(不登校、ひきこもり対策)</p> <p>③ <b>グローバル教育</b> 将来外国にいったときに必ず日本人として求められる素養の体験</p> <p>日本人であることの誇り教育の為、義務教育レベルから武道や日本文化を必修化する。</p> <p>幼児期の武道体験は忍耐力と集中力が自然に身につく効果的。</p> <p>④ <b>コミュニケーション能力教育</b></p> <p>核家族化とTVゲームにより幼児期から兄妹同士の摩擦や競争、幅広い年齢層との接触が少なく、社会性が著しく低下している。ひきこもりなどの要因でもある。自然の中での体験学習やグループ活動プログラムが有効。</p> <p>⑤ <b>リーダーシップ教育</b> 日本の若者が世界と伍してゆくために必須条件</p> <p>日本人が苦手としているが指導も不十分である。これだけグローバル化が進めば逃げ道はなく、早急にプログラムを作るべきである。</p> <p>⑥ <b>ふるさと教育</b> こどもの帰巣本能を刺激する</p> <p>新居浜の歴史と誇れるものを小中高バージョンの副読本にし必修とする。</p> <p>伝統行事たる太鼓祭りにできるだけ興味を持たせる仕組みをつくる(新居浜に帰ってくる機会をつくる)</p> <p>⑦ <b>親の教育</b> モンスターペアレントを作らないために</p> <p>自分の論理だけで学校へ圧力をかける事に躊躇しない親の存在に学校は困っている。PTAだけでは抑止力にならない。学校支援地域本部制度をうまく利用して地域の協力による対策支援が有効である。また協力いただける引退後のベテラン教員も、近隣の親の指導には心強い。</p> <p>⑧ <b>市内5高校の特色を明確に発揮してほしい</b></p> <p>隣の三島高校のここ数年のオリジナリティーさと躍進ぶりはみていてすがすがしくもうらやましい。県教委管轄は同一であるからできない言い訳はない。おそらくOB組織や地域との友好支援体制が確立していると思われる。特にスポーツは地域体育組織とのリンクが機能している。偏差値もかなり上がっていると聞く。マスコミの使い方もうまい。甲子園を見るまでもなく母校が評価されると卒業生のプライドもあがるし、町の活気にもつながる。ガンバレ新居浜。</p>	角野
社会教育	<p>小学校を「休校」から「廃校」とし、小学校の跡地を有効利用して、地域の活性化につなげたい。</p> <p>地域人と来島者が集い学びあい交流を深めるための「滞留型交流施設」が必要(大島小学校を利用)</p>	

中分類	提言	校区
社会教育	<p>■教育と福祉の両面を重視した公民館運営について            新たな地域交流センターについて、</p> <p>① 新居浜市立公民館運営規則に定めるような事業以外に、館内に社会福祉協議会支部の事務局を設置し、地域福祉の増進に努める旨の趣旨を追加することを認めていただきたい。</p> <p>② 施設の名称については、従来の「〇〇公民館」ではなく地域福祉の向上に寄与する活動も実施していくことが住民に伝わるような名称にしていきたい。</p> <p>③ 校区で独自に活用できる施設は公民館のみであるため、地域福祉の拠点に位置付けることを認めていただきたい。</p> <p>提言実現の効果としては、地域住民に対し、新たな施設が地域福祉に貢献していると実感していただくことで、地域の連帯感が強まるとともに、施設利用に係る受益者拡大にも繋がる。</p> <p>金子校区としては、今後、公民館改築をきっかけに、住民の立場にたった地域福祉の向上につながるような活動も含め多面的な活動を展開していきたいと考えている。</p>	金子
	<p>スポーツ立国（市）宣言            ■文武両道を旨とし世界に通用するスポーツマンの輩出と新居浜人の誇りにつながるような風土づくり</p> <p>① <b>スポーツ専任部署の独立により、2017年国体を意識した全市的なスポーツのレベルアップ。</b>            指導者の把握と組織化、徹底した指導現場の現状把握、最先端の指導ノウハウの提供、指導者の先進地研修制度の導入、スポーツ環境の充実と市民意識の高揚、スポーツ版モンスターペアレンツへの対応指導。</p> <p>② <b>甲子園が目指せる土壌作り</b>            これ以上の有望選手流出に歯止めをかけるとともに、野球関係者が一致協力することにより新居浜から甲子園を狙えるチームをつくる。</p> <p>③ <b>小中高の教員人事に左右されない地域の指導者の確保と調整機関の設立（小中高の一貫した指導体制の維持）</b>            「総合型地域スポーツクラブ」の新設</p>	角野
スポーツ	<p>① <b>スポーツ施設の充実</b>            市内には、市民体育館と山根総合体育館と多喜浜体育館と3か所あるが、どちらの施設も中途半端で、空調設備がなく、全国大会の公式試合ができないため、他市で行われることになり、新居浜の子供たちも他市へ出かけなければならない。1か所でもいいから新しい体育館をつくっていただき、逆に他市から集まってくるような体育館や施設をつくってほしい。</p> <p>② <b>スポーツをしている中学生の進学について</b>            小中学校のときにスポーツに励み、さらに上を目指す子供たちが、よい指導者や強いチームを求め、他市へ出ていく傾向が見られる。他市へ出ていくことになれば、経済的にも身体的にも負担が大きい。できるなら、市内の高校で、さらに上を目指すことができるようになればいいと思う。県立高校であるため、難しい面もあると思うが、スポーツ学科の設置、指導者の確保、練習環境の整備などに、市の方でも力を入れてほしい。</p> <p>明日から甲子園で全国高校野球大会が始まるが、愛媛県大会において、新居浜市内の高校6校はいずれも2回戦までに敗退し、悲しい。同じ県立高校の今治西、西条高校のようになればいいので、合わせてご検討願いたい。</p>	新居浜

中分類	提言	校区
スポーツ	人生85年時代に、健康でい続けるため、また世代間の交流を図るため、スポーツをもっと振興させることが必要と思われる。できることであれば、芝のグランドゴルフ場など、全国的な大会を開くことができるぐらいの環境整備も行ってほしい。総合健康運動公園構想も実現してほしい。	神郷
芸術文化	他市にまけないコンサートホールを建設してほしい。郷土芸能を保全したり、有名人を呼んで、文化市事業の活性化になる。活気のある魅力あるまちにしてほしい（西高1年鈴木祐香） 駅前の芸術文化施設は県内でも誇れる施設にしてほしい。太鼓台、塩田遺跡など展示施設も力を入れて、10年後を見据えた立派な施設となるようにしてほしい。	金栄
近代化産業遺産	<p>惣開校区には、別子銅山と、住友各社との強い結びつきで、現在まで発展してきた。新居浜市の長期総合計画のなかでも、近代化産業遺産のロマン息づくまちづくりを掲げており、この地区は近代化産業遺産に多く恵まれており、大変歴史の深い地域である。</p> <p>しかし、上部地区にはマイントピア別子、川東地区にはマリパーク新居浜といったテーマパークがある。川西地区にも、この星越地区に新居浜市にふさわしいシンボリックなテーマパークが必要だと思っており、これをまちづくりの柱としたいと考えている。</p> <p>山田社宅・星越駅舎・星越トンネル等、昭和初期の景観が残っており、生きた博物館的な存在であり、テーマパークにふさわしい地区だと思っている。</p> <p>また、惣開公民館では、近代化産業遺産関連の講座を開催しており、先人の足跡を訪ねて、地域の歴史を学ぶ学習を重ねてきている。</p>	惣開
	<p>まちづくりにおいては、この地区でいえば、産業遺産、豊かな自然、住民が宝である。公民館をまちづくりの拠点として、各種企業団体が、学習や各種活動をし交流することにより自分のまちに愛着を持ち、地域を愛する心が育ちそれがまちづくりにつながると考えている。</p> <p>提言の第1としては、公民館を星越の山田社宅エリアに移転し、その公民館は、平屋建てで、今の社宅にマッチした外観にする。それを中心に残った産業遺産を保存活用していく。同時に公民館に、触れ合い交流館（グランドゴルフ場、宿泊研修所も併設）を併設する。</p> <p>第2として、星越駅舎を整備して、先人の精神を伝承するモニュメントとして資料館を設置する。</p> <p>第3として、池・王子川を整備。</p> <p>第4として、星越を1周する遊歩道の整備。</p>	惣開
	<p>えんとつ山の整備（発表有り）</p> <p>大山積神社と日本庭園間の雑木林の整備について</p> <p>えんとつ山エリア公園整備の重要な位置づけとして、地元を中心とする有志組織による上記ゾーンへの整備着手の考え方とすり合わせについて。別子銅山文化遺産課を中心とする行政チームとえんとつ山作務組織（地域住民主体）との連携のあり方</p>	角野
	<p>産業遺産や文化遺産を残していくことが未来の新居浜を考えてく上で大切である。</p>	宮西

(6) 行財政運営

中分類	提言	校区
生涯学習 まちづくり	<p>多喜浜塩田文化の保存継承事業の発展</p> <p>① 啓発活動を組織的、計画的に継続して取り組む後継者の育成を図ること。</p> <p>② 時間の経過とともに塩田作業体験者が少なくなっている。塩づくりに携わった人々やその時代を生き抜いた人達による体験談、作業内容や方法、道具の扱い方、暮らしのあれこれ等、聞き取り調査や座談会を開催して収録すること。</p> <p>③ 街づくりの究極的なねらいであり、シンボリックな存在になる塩田資料館の建設であり運動が途絶えることなく、粘り強く継続されること。 近世多喜浜塩田の資料を含め、家・屋敷を塩田資料館などに活用すること（海洋文化（塩づくりのふる里）の拠点とする。</p>	多喜浜
市民参加型 行政	<p>市民と行政が一体となって、どれだけ、行政に協力するかが重要となってきている。</p>	金栄
	<p>地域の自治体構成が様変わりし、地域の役員が活動しにくい環境になり、個人情報保護法が施行されてからは自治会名簿が作成できない自治会もある。これから個人の権利はさらに強くなっていくが、こうした事実を地域任せにせず行政の支援をお願いする。</p>	船木
	<p>我々の身近な地域活動の現状からして、10年先はどうなるかを想定したい。大半の自治会は、少子高齢化が進み、核家族化、個人主義、高齢者の一人住まい、高齢夫婦世帯の増加、空家の増加等から自治会加入率は年々低下が進んでいる。高津校区では現在加入世帯数からして70%を切り、約68%前後程度になっていると思われる。これが、10年後にはおそらくこのままでいくと50%を切ることが想定される。同じ人が何年も何役も引き受けなければならないというのが実態であり、これからの自治会活動は、衰退すると思う。かつての阪神大震災の被災地での協議会の発足、あるいは平成16年の新居浜市の台風災害による被災時の自治会のまとまり等からしても、やはり人間というものには何か目標なり目的があれば一つにまとまっていくが、あれから5年経って自治会の入会や団結といったものがだんだん薄れていっている状況である。こうした問題は、高津だけの問題ではなく、新居浜市全体の問題であると思うので今後も行政の支援等により、自治会の加入率の向上、あるいは地域の発展に取り組んでいきたいと考えている。</p>	高津
行財政運営	<p><b>行政施策のスピード化</b></p> <p>① 市民諮問機関を設立し、いかにして民間感覚のスピード感に近づけるか徹底検討する。</p> <p>② 阻害要因が市民側や議会側にある場合は、公開性を持って交渉窓口としても機能する。</p> <p>③ 個人の権利関係に抵触している場合は市民の立場で仲介交渉する。</p> <p>④ 定期的に全部署に対する市民の評価状況を公開。</p>	角野

中分類	提言	校区
地域コミュニティ	<p>向こう三軒両隣の復活（自治会を中心とした地域コミュニティの再構築）</p> <p>■ 行過ぎた個人情報保護による住民間の連絡網の寸断の是正（連絡網問題）</p> <p>① 県の担当課の所見では市町村の過剰反応であり、県の指導に準拠してほしいとのこと。</p> <p>② 機密保持に関しては組織の管理責任者が厳重指導する。（必要な情報の共有は可）</p> <p>③ メールネットワークの積極採用により距離感が緊密になり、コストも時間も節約できる。</p> <p>④ 携帯ネットワークにより緊急時の連絡網に効果発揮できる。（所持率97%）</p> <p>■ 市役所職員の各自治会活動・公民館活動・PTA 活動への準義務化による地域コミュニティ活性化の推進。それに伴う職員の評価制度の確立と勤務体制の優遇化</p> <p>① 行政サービスへの理解促進効果が期待できる。</p> <p>② 地域住民のニーズがリアルタイムで把握でき、サービスのスピード化に貢献できる。</p> <p>③ 地域各種組織の若返りにより、地域行事の復活や若年層の定着化が期待できる。</p>	角野
	<p>「大好き泉川ふるさとづくり」のために、市民と行政の協働の促進を図る。泉川公民館が市内のモデル公民館にしたい。自分たちで出来ることは自分たちで、自分たちで出来ないことは行政にお願いすることをモットーにしている。</p>	泉川
その他	<p>自分達の地域のことは自分達の地域で決められる道州制の実現に向けて、新居浜市が中心となって行動を起こしていただきたい。</p> <p>別子山を「ベッドタウン特区」として位置づけ、子育て世代への手当を新設したり、遊休地を農園付きの住宅としたり、子どもたちや女性が宿泊体験をし、別子の良さを知ってもらえる機会を増やす。</p>	中萩 別子山